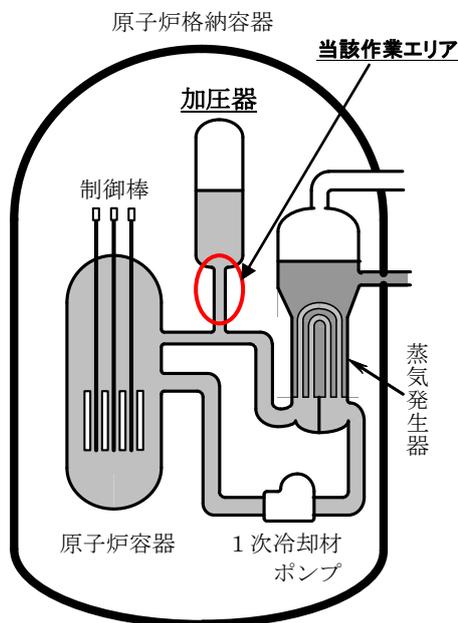


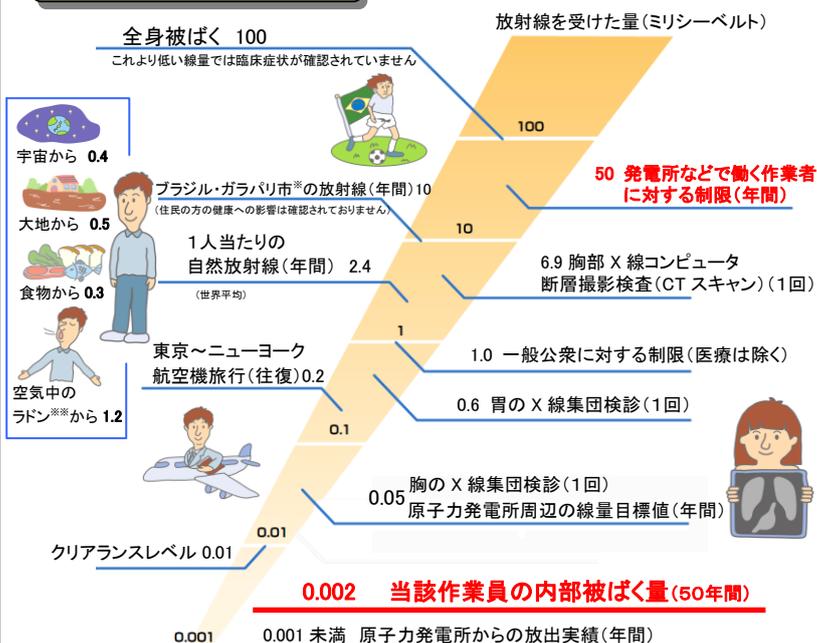
## 原因と対策の概要

### 発生場所

#### 泊発電所1号機



### 当該作業員の被ばく量



※:ブラジル南部、大西洋岸のリゾート。大地からの放射線が最も多い地域のひとつ  
 ※※:空気中に存在する天然の放射性物質

出典:国連科学委員会報告 ICRP Pub103

### 調査結果

- 当該作業エリアでは、汚染エリアを設定し加圧器管台修繕工事を実施していたが、今回の事象は、修繕工事終了後の当該汚染エリアを解除した非汚染エリアで発生したものである。汚染エリアの解除にあたっては、微小な放射性物質が残存しないよう、放射性ダストが発生していないことを確認するためにサンプリングしながら養生の撤去を行った。さらに養生の撤去後、スミヤ測定にて当該作業エリアの汚染がないことを確認した。  
 また、事象発生後もスミヤ測定を再度実施し汚染がないことを確認した。
- 聞き取り調査により、当該作業員は手袋または服の袖で口、鼻を触っていないことを確認した。また、口腔および鼻腔内はスミヤ測定で汚染していないことを確認した。
- 空調ダクトの内外面の全表面のスミヤ測定を行い、汚染がないことを確認した。
- 当該作業員の作業内容を確認したところ、事象が発生した作業エリアには、複数の作業員がいたものの、当該作業員は一人で空調ダクトを下から支える作業を顔を上に向けた姿勢で実施していたことがわかった。

### 推定原因

調査結果の(1)～(3)項については、直接的な原因には該当しないが、(4)項については、空調ダクトの復旧作業において、当該作業員が一人で空調ダクトを下から支える作業を顔を上に向けた姿勢で実施していたことから、当該作業エリア上部にスポット的に残存していた微小な粒子状の放射性物質が落下し、身体内部に取り込んだ可能性があるとして推定された。

### 再発防止対策

- 1次冷却材系統等の放射線量の高い配管の切断、加工等の汚染作業を伴う工事の汚染エリアを解除した後においても、当該作業エリアで上向き姿勢の作業がある場合は、念のため防塵マスク等を着用する。
- 今回の事象について、関係者に周知するとともに、定期検査中に元請各社の放射線管理責任者を集めて開催する放射線管理会議において、本事象の周知および注意喚起を行う。

